

「自閉症の理解と教育支援 ～子どもたちが教えてくれた大切なこと～」

参加者の皆様からたくさんのご感想をお寄せいただきました。ありがとうございました。一部ではございますが、ご紹介させていただきます。



実践例を示しながらのお話、とてもわかりやすかったです。すべての自閉症の子に辻山先生が実践されているような教育を受けさせたいです。

(中2 大2 保護者)

とても参考になり、楽しく聞くことができました。こどもがもっと小さい時に聞きたかったと思いました。先生に教わったお子さんとお母さんは幸せですね。

(養護中学部3年 保護者)



普段は子どもたちと直接は関わりのない、もろもろの仕事に追われて忙しく、十分に教材を用意してあげることができていない現状です。この夏休み中、子どもたち一人一人の顔を思い浮かべながら、その子その子のスペシャルをもう一度振り返り、論拠を持った支援ができるよう、教材研究をしたいなと思います。

(教諭 特別支援学級)

スケジュールを貼り出すこと一つでも、情報はその子が必要とする部分だけで良いということも気付きとして学びました。保育者として「子どもが中心、一番になる支援の在り方、考え方」を改めて考えさせられる有意義な時間でした。園に帰って気になる子への支援に活かしていきたいと思います。

(幼稚園教諭)



支援のヒントをいくつもいただきました。ありがとうございます。今後もどんどん勉強していい支援ができるようにスキルアップしていきたいと思います。素敵な時間を作っていただき、ありがとうございました。

(支援職 児童通所支援事業所)

自閉症の講演会は初めてだったのですが、大変わかりやすくお話しでとても勉強になりました。大学生活4年間でさらに勉強し、教えていただいた支援方法などを教育現場で活かせるよう努力したいと思います。また、教育についての勉強だけでなく、卒業後のこともよく知らなければならぬと思いました。(学生)



「安定があってこそそのスタート、人が変わっても同じ支援」というところを職場でも話合いたいと思いました。ありがとうございました。

(支援職 デイサービス)